

Q 1 ワクチンはいつ頃接種できるの？
費用負担は？

A 1 2月中旬以降、順次無償で実施します

埼玉県における
接種予定者数(推計)

医療従事者等
約22.2万人

2月中旬～

医療従事者等



接種費用は全額国負担

(接種会場でお支払いいただく必要はありません。)

高齢者(65歳以上)
約193.6万人

3月
高齢者への
接種券配布

4月～

高齢者(65歳以上)



基礎疾患を有する方
約46.6万人

基礎疾患を有する方

高齢者施設等の従事者
約11.1万人

高齢者施設等の従事者

その他の方
約466.5万人

その他の方

4月～
高齢者以外への
接種券配布

Q 2 県と市町村の役割は？

A 2 県は広域調整、市町村が接種を実施

- 国の主導のもと、必要な財政措置を行い、住民に身近な市町村が接種事務を実施し、都道府県は広域的観点から必要な調整を担う

国

- ワクチンの確保
- 購入ワクチンの卸売業者への流通の委託
- 接種順位の設定
- ワクチンに係る科学的知見の国民への情報提供
- 健康被害救済に係る認定
- 副反応疑い報告制度の運営

都道府県

- 市町村事務に係る調整（国との連絡調整、接種スケジュールの広域調整等）
- 優先的な接種の対象となる医療従事者等への接種体制の調整
- 専門的相談対応
- 地域の卸売業者との調整（ワクチン流通等）

市町村

- 医療機関との委託契約、接種費用の支払
- 集団的な接種を行う場合の会場確保等
- 住民への接種勧奨、個別通知（予診票、接種券）
- 接種手続等に関する一般相談対応
- 健康被害救済の申請受付、給付

Q 3 接種後の副反応等は大丈夫？

A 3 安心・安全な接種体制を整えています

接種会場
で接種

接種後会場で
15分程度待機



軽度な腫れや
痛み
↓
経過観察



① 接種直後のアナフィラキシーショック等
⇒ 接種会場で応急措置



改善しないとき

② 接種後、夜に遅発性ショック等の出現

県の設置する
専門相談窓口



⇒ 翌朝まで待てる場合には、かかりつけ医等に誘導



緊急を要するとき

③ 接種後、麻痺やしびれ症状の出現

まずは、
接種医・かかりつけ医
に相談



対応が
困難なとき

紹介



専門医療機関